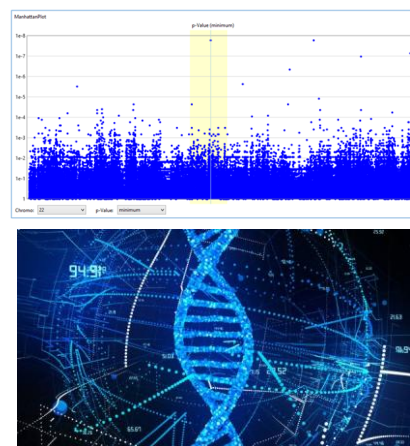


Tsubasa Seasons

ゲノムから痛風に迫る！

遺伝子病というと、高校の生物で教わったメンデル法則に基づいた1つの遺伝子の変異によって引き起こされる病気である単一遺伝子疾患を連想する方が多いと思います。遺伝様式によって常染色体優性遺伝、常染色体劣性遺伝、X連鎖遺伝などがあり、遺伝性のがんや神経性疾患、血友病などが該当します。一方で痛風をはじめとして糖尿病、心筋梗塞、関節リウマチ、気管支喘息、アルツハイマー型認知症などの「日常的に多く見られる病気」にも近年遺伝が関わっていることも明らかになってきました。この遺伝現象を単一遺伝子疾患に対して複雑形質（多因子形質）と呼びます。



複雑形質の研究手法として、大サンプルの遺伝子情報とコンピューターを用いた解析を行うゲノムワイド関連解析（GWAS：genome wide association study）が広く行われるようになってきました。ゲノム解析により様々な病気に生涯にわたるリスクや個別の治療法を選択するゲノム医療の分野も急速に発展しています。「日常的に多く見られる病気」の中でも特に痛風・高尿酸血症は、この遺伝子変化がその発症や進展に強く影響を与えていることが注目されています。当クリニックの痛風専門外来で実施しているABCG2（ATP-binding cassette transporter subfamily G, member 2）やALDH2（aldehyde dehydrogenase 2）の変化は、10倍以上痛風発症のリスクを高めると報告されています。

痛風・高尿酸血症のリスクを知ることはもちろん重要ですが、ゲノム解析の結果により最適な尿酸降下薬の選択や、生活習慣の改善につながる指導に活用することがもっとも大切だと考えます。例えば、ゲノム解析の結果により個別の適正な飲酒量を設定することができれば栄養食事指導の実効性もより増すのではないかと考えます。

当クリニックの痛風専門外来はクリアランス検査による正確な病型診断やゲノム解析、関節超音波検査による関節内尿酸塩結晶沈着の把握などに基づく栄養食事運動指導や尿酸降下薬による適正な尿酸コントロールによって関節内の尿酸塩結晶の消失（痛風関節炎が起きない状態）を目指しています。



大山博司
第58回 日本痛風・尿酸核酸学会総会々長

第58回日本痛風・尿酸核酸学会総会 終了のご報告

この度2025年2月20、21日に開催いたしました【第58回日本痛風・尿酸核酸学会総会】が盛会の内に終了致しましたことをご報告させていただきます。ご参加いただきました皆様、開催に際してご協力を承りました皆様、心より御礼申し上げます。



つばさクリニックの血液吸着療法について

つばさクリニック透析室では、一般的な血液透析療法（HD）やオンラインHDF（濾過透析）に加えて、血液吸着療法を実施しています。血液吸着療法は、血液中の特定の有害物質を吸着・除去することで、病気の進行を抑え、症状の改善を目的とする治療法です。特に、炎症性疾患の抑制、血流障害の改善、アミロイド除去などに効果が期待されます。

顆粒状活性炭吸着療法は、透析患者さんに多い下肢閉塞性動脈疾患（LEAD）や包括的高度慢性下肢虚血（CLTI）に対して行われる治療法です。血液中のLDLコレステロールや血液凝固因子、炎症性サイトカインを除去することで、血管の機能改善や血流増加が期待されます。特に、足の冷えやしびれ、重篤な潰瘍の改善が報告されています。

β 2-ミクログロブリン吸着療法は、長期透析患者さんに多い透析アミロイドーシスの治療に用いられます。透析を長く続けることで体内に蓄積する β 2-ミクログロブリンを選択的に除去し、関節痛症状や手根管症候群などの改善が期待されます。

つばさクリニック透析室では、最新の血液浄化療法を取り入れ、患者さんの個々の症状に応じた最適な治療を提供できるよう努めています。



マイナ保険証のメリット

☆マイナ保険証を利用するメリット☆

過去の診療・薬剤情報などに基づいた診断や重複する投薬を回避した適切な処方や指導などを受けることができます。（ご自身が情報を提供することに同意した場合）

また、高額な医療費が発生した場合でも事前申請や高額な建て替え払いをせずに、その場で不要になります。

☆マイナ保険証でうまく受付できないとき...「顔認証で受付できない!」など☆

マイナポータル画面（ダウンロードしたPDFファイルも可）または「資格情報のお知らせ」のどちらかをご提示いただくことで保険診療が受けられます。

※資格情報のお知らせとは...マイナ保険証をお持ちの方に、申請しなくても交付される書類です。単体では受信できません。保険証との紐づけがまだの方はこの機会にぜひどうぞ。

現在、外来の患者様の受付の際にマイナンバーカードと保険証のどちらかのご提示をお願いしております。

2025年12月2日以降はお手元の保険証は使えなくなります。



当院ではスムーズな受付のために、マイナ保険証についてお声がけの内容や患者様の状況に合ったご説明ができるよう工夫してまいります。マイナ保険証についてお知らせのチラシも待合室にございますのでお手にとってみてください。

＝編集後記＝

花冷えの頃は体調を崩しやすいものですが、
皆様お風邪など召ませぬようお気を付けください

